

宝塚市における地域連携推進に向けた取り組み ～病診薬連携による高齢者の服薬対策～

琢磨 寛孝 ●一般社団法人宝塚市薬剤師会 理事



宝つーかーの会

要旨

超高齢社会に突入した我が国では、複数の疾患を抱える高齢患者が個々の疾患治療により多剤併用に陥り、服薬に伴うQOL低下や服薬過誤、薬物相互作用等による有害事象が社会問題になっている。

2015年に設立した宝塚市地域連携研究会「宝つーかーの会」では、地域住民の薬物治療に貢献できるよう薬剤師の知識向上を目指し、情報共有ツールの作成と活用を実践してきた。当研究会から派生した若手の交流の場の「ヤングつーかーの会」、多職種連携のための「つながる薬局プロジェクト」も行われている。今年度は多職種連携と情報共有ツールの周知に関する内容で、5回のオンライン研修を開催した。

今後も「宝つーかーの会」を通して、多職種連携による地域の健康増進と薬物適正使用の促進、さらに宝塚市独自の地域フォーミュラ構築に向けた検討を継続したい。

1. 背景と目的

超高齢社会の我が国では、多剤併用による患者への実害が社会問題となっている。宝塚市では、地域医療の質的向上を図る目的で、宝塚市薬剤師地域連携研究会「宝つーかーの会」を2015年5月に設立した。本研究会は、高齢患者のポリファーマシー対策を契機に、志を同じくする病院薬剤師・薬局薬剤師が一堂に集い、医師会の全面的協力のもと、地域住民の薬物治療に貢献してきた。目的は、地域住民が安心して薬物治療が受けられるよう、本活動のさらなる発展を目指すことにある。

2. 活動の方法

「宝つーかーの会」は、市域の取り組みの円滑化を図るための薬剤師教育や知識の共有の場としての役割を担っている。具体的な症例検討を交えて、医師・薬剤師が協議し、1つひとつ丁寧にフォローアップしている。また、若手薬剤師の交流の場として「ヤングつーかーの会」を開催し、お互いに情報発信しやすい関係を構築している。本活動を通して、病院、薬局の薬剤師の知識の習得とともに、病診薬連携のための、情報共有のためのツールの検討を行った。さらに、多職種連携研修会として派生した「つながる薬局プロジェクト」を開催し、他職種の業務把握と連携強化を図っている。

3. 現状の成果・考察

今年度はコロナ禍ということもあり、集合研修や介護事業者向けの実地研修ができなかった。オンライン配信での研修は、合計5回開催し、知識と情報共有のためのツールの



統一した吸入指導フォーマットの説明



居宅介護支援事業とケアマネジャー

周知を行った。

●情報共有ツール周知のための研修会

第29回宝つーカーの会「薬薬連携による情報共有・症例検討：退院時薬剤情報提供書・トレーニングレポート」では、情報共有ツールを用いた結果、患者の有害事象を未然に防いだ症例を共有できた。退院時薬剤情報提供書の活用法やその後のフォローアップとして、トレーニングレポートの書き方が明確になり、件数も増加している。第30回宝つーカーの会「喘息の吸入療法を極める～COVID-19コロナ禍での吸入指導も含めて～」では、専門医を招いて、吸入指導報告書や吸入指導のための研修内容について講義いただいた。

宝塚市では、主治医が評価する視点 (CAT、ACT) を取り入れた吸入指導のトレーニングレポートのフォーマットを作成し、その活用方法も同研修内で実践・周知した。

●多職種連携のための研修会

第15回ヤングつーカーの会「糖尿病患者への服薬指導～薬と食事～」では、専門医、管理栄養士、病・薬の薬剤師それぞれの立場から発表とともにご意見をいただいた。専門医、管理栄養士から薬剤師に期待すること、また指導時の注意点等についてご教授いただいた。第31回宝つーカーの会「居宅介護支援事業所とケアマネジャー」では、他職種の業務と訪問薬剤師に求められていることについて発表いただいた。つながる薬局プロジェクト

ト「軟膏の塗り方 基礎講座」では、宝塚市内で統一した外用薬塗布方法を確立するために研修会を行った。当研修会参加者は、学習した内容を基に今後、介護ヘルパー向けの研修会を行っていく予定である。

4. 今後の展望

宝塚市域の多職種がお互いの業務の把握をし、「顔の見える関係」をつくれるように取り組んだことで、薬剤師の質的向上や地域包括ケアシステム構築の推進、ひいては宝塚市民の健康増進に大きく寄与している。今後も宝塚市内の医療・介護従事者との関係をより強固なものにするために、本取り組みを継続したい。

また、地域完結型医療では、入・退・転院ごとに医療の場が変わり、薬も変わることが高齢患者の服薬アドヒアランスを低下させる。問題解消には、本研究会を通じて、医師会・薬剤師会・病院が協議し、薬剤情報の共有方法を市内で統一して適正使用を実践すること。さらに宝塚市のビッグデータ解析により、ポリファーマシーに関連する常用薬剤の現状を市域全体で共有して、宝塚市独自の地域フォーミュラを模索していきたい。



多職種参加の「糖尿病患者への服薬指導」